

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬小学校
校長名 谷口雄磨

令和6年度教育課程

このことについて、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（知的障害）の教育課程を下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

（1）学校の教育目標及び育成を図る資質・能力

- ・元気な子（健やかな心と身体）
- ・考える子（知恵を獲得し自分の考えをもつ力）
- ・協力する子（力を合わせ創造する態度）
- ・仲良くする子（多様性を認め相手を思いやる心）

（2）特別支援学級の教育目標

- ・基本的な生活習慣を身に付け、適切に判断して行動できる子
- ・障害の程度に応じて、確かな知識と技能を身に付け自分の考えをもつことができる子
- ・集団の一員としての自覚と責任をもち、協力して新たなものを創り出すことができる子
- ・違いを認め、相手の立場に立って考え行動できる子

（3）学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

○確かな学力の向上

- ・個々の障害の程度に応じて確実に基礎的・基本的な学習内容を定着させ、学習習慣の定着化を図る。
- ・タブレット端末を活用し、ICT教育を充実させた授業を行うとともに、指導計画を基に確実にデジタルリテラシーを身に付けさせる。
- ・保護者等の協力を得て、家庭での学習の習慣化を図る。

○学びへの関心・意欲の醸成と向上

- ・めあてとまとめを明記し分かる授業を行う。（個別最適な学びと協働的な学びの往還）
- ・キャリア教育（いのちの学習）を通して生き方を考えさせ、学ぶことの意義を理解させる。

○豊かな心としなやかで強かな心の育成

- ・あらゆる機会を捉えて自尊感情・自己肯定感、自己有用感を醸成する。
- ・教育相談機能を充実させて児童の相談力を育て、いじめ「見逃しゼロ」を徹底する。
- ・「ならぬことはならぬ」という毅然とした態度で接し、規範意識を醸成する。
- ・危険を予測し、回避する能力を育成する。
- ・道徳科において「生命尊重」については、「いのちの学習」の一環として重点化を図る。

○運動習慣の確立と体力の向上

- ・運動することの楽しさや必要性を感じさせ、運動時間の確保を通して日常化を図る。
- ・望ましい生活習慣を確立し定着化を図る。（食育、保健指導の充実）

○特別支援教育の充実

- ・個々の困り感や願いに適宜対応し、望ましい人間関係形成力を育てる。
- ・通常の学級との交流を活性化させる。（交流および共同学習の充実）

○地域愛・郷土愛の醸成と社会貢献意識の醸成

- ・地域のよさを味わわせる取組を充実させるとともに地域に働きかける取組も充実させる。